



一青 妙

(エッセイスト・女優・
歯科医として活躍)

台湾の名家・顔家の長男の台湾人の父と、日本人の母との間に生まれ、幼少期を台湾、11歳から日本で暮らし始める。現在、台南市親善大使や石川県中能登町観光大使に任命され、日台の架け橋となる文化交流活動に力を入れる。

家族や台湾をテーマにエッセイを活発に執筆している。著書を原作にした日台合作映画『ママ、ごはんまだ?』が昨年2月に公開され、自身も出演した。最新刊『環島ぐるっと台湾一周の旅』は、自身の台湾自転車一周「環島」旅行などをもとに環島の楽しみ方をまとめたもの。

著書

- 『私の箱子』（講談社、2012年）
- 『ママ、ごはんまだ?』（講談社、2013年）
- 『わたしの台南 「本当の台湾」に出会う旅』（新潮社、2014年）
- 『わたしの東海岸 「もう一つの台湾」をめぐる旅』（新潮社、2016年）
- 『台南 「日本」に出会える街』（新潮社、2016年）
- 『環島 ぐるっと台湾一周の旅』（東洋経済新報社、2017年）



野嶋 剛

(ジャーナリスト)

1968年生まれ。上智大学新聞学科卒。大学在学中に香港中文大学・台湾師範大学に留学。1992年朝日新聞社入社後、佐賀支局、シンガポール支局長、台北支局長、国際編集部次長、AERA編集部などを経て、2016年4月からフリーに。中国、台湾、香港、東南アジアの問題を中心に活発な執筆活動を行っており、著書の多くが中国、台湾で翻訳出版されている。

著書

- 『イラク戦争従記』（朝日新聞社、2003年）
- 『ふたつの故宮博物院』（新潮選書、2011年）
- 『謎の名画・清明上河図』（勉誠出版、2012年）
- 『銀輪の巨人ジャイアント』（東洋経済新報社、2012年）
- 『チャイニーズ・ライフ』（訳書・上下巻、明石書店、2013年）=文化庁メディア芸術祭優秀賞受賞
- 『ラスト・バタリオン 蒋介石と日本軍人たち』（講談社、2014年）
- 『認識・TAIWAN・電影 映画で知る台湾』（明石書店、2015年）
- 『故宮物語』（勉誠出版、2016年5月）
- 『台湾とは何か』（ちくま新書、2016年5月）=梶山純三賞受賞

ご返信欄 FAX: 092-734-2819
(台北駐福岡経済文化辦事処)

代表者氏名 _____ 人数 _____

住所 _____

電話 _____ FAX _____



天神幸ビル1階 正面玄関右 ナチュラリープラスの会議室

<天神幸ビルまでのアクセス方法>
 天神中央郵便局正面玄関向かって右の道沿いまっすぐ
 市営地下鉄空港線「天神駅」徒歩3分
 西鉄「福岡(天神)駅」徒歩7分